栄養管理部

1. スタッフ

部長（教授）　窪田 直人（くぼた なおと）

副部長（室長）　三島 裕子（みしま ゆうこ）
副室長１名
主任栄養士１名、
栄養士９名
調理師長１名、
副調理師長１名、
調理師３名
事務補助１名
委託職員 64 名

２．栄養管理部の特徴、取組内容

患者の栄養管理が疾病の治療に重要であるという認識が高まっている。特に当院は特定機能病院としての位置づけから重症度の高い患者を受け入れており、高度な栄養治療部門と患者サービスおよび衛生管理を担うフードサービス部門を両輪としたマネジメントを実践することが求められている。栄養管理部は安全で満足度の高い治療食の提供はもとより、糖尿病療養指導士やＮＳＴ専門療法士等の専門資格を有した管理栄養士が、ＮＳＴ（栄養サポートチーム）、褥瘡対策チーム、緩和ケアチーム、感染対策チームの一員として、医師を中心とし看護師等コメディカルとともに各診療科に対し、診療における栄養管理の立場から活動を行っている。また、高齢化や生活習慣病の増加に伴い、栄養食事指導を実施することで治療効果の向上、合併症の予防、栄養状態を改善し免疫力低下の防止、ひいてはＱＯＬの改善を推進している。さらに、病態栄養管理の専門家として医療現場において果たすべき役割が拡大しており、患者のみならず臨床栄養の教育的立場から日本静脈経腸学会実地修練認定教育施設として県内外の研修生の受け入れ、臨床栄養の教育的立場から熊本県立大学生の臨地実習も担当している。

３．業務内容

○患者給食

病院全体の患者給食の運営・管理を担当している。献立の作成、栄養価算定、材料の購入計画及び検収、調理および配膳、食数管理、厨房の衛生管理などを行っている。治療の一環としての食事は、病態別はもちろん、個人の嗜好等にも配慮し複雑多岐に亘っている。中でも化学療法等による食欲不振患者に対する個人オーダ食は好評であり、更には入院中の楽しみとなるよう選択メニューや行事食を実施し、患者サービスの向上に努めている。

○栄養指導

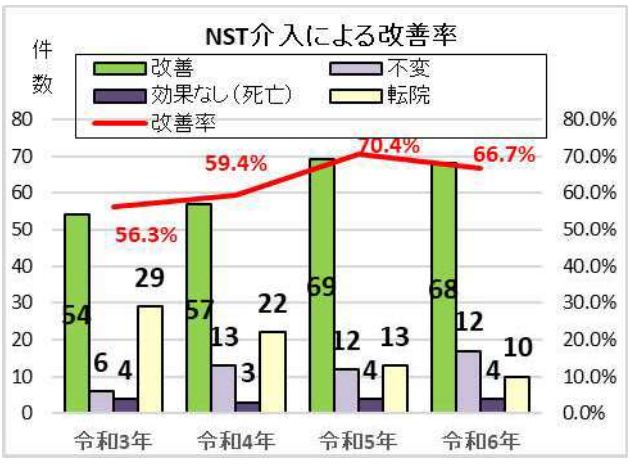
外来、入院患者に対する栄養指導を個別、集団の形態で行っている。2024 年度の栄養指導件数は別表の通りである。個別指導は予約制（入院・外来）で実施しているが、2016 年７月より外来のみ随時受付を開始した。集団指導は糖尿病教室、母親学級を定期的に実施している。また、栄養管理計画に基づく病棟訪問も随時実施している。

栄養指導件数（個別・集団）

	入院	外来	計
糖尿病	464	229	693
腎臓病	93	45	138
心疾患	113	14	127
高血圧	36	3	39
肥満	53	299	352
がん	58	97	155
その他	236	144	380
合計	1053	831	1884

○ＮＳＴ回診

栄養治療に関する専門知識を有する医師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、看護師が組織横断的チームを組織し、栄養障害を有する患者の栄養アセスメント、栄養法のコンサルト、更には栄養治療の啓蒙等も行い治療効果の向上を図っている。



その他の活動体制

〇チーム医療

チーム医療の重要性から、ＮＳＴ（栄養サポートチーム）、褥瘡対策チーム、緩和ケアチーム、ICT、ＲＭ（医療安全）、クリニカルパス、臨床カンファレンス、嚥下障害等のチームに管理栄養士が属し活動を行っている。
また、担当病棟におけるラウンドも実施している。

〇その他

最新のエビデンスに基づく栄養治療の実践に不可欠な学会、研修会等の参加・発表も積極的に行っている。
平成 24 年度から熊本県における糖尿病予防啓発の一環としてブルーサークルメニュー（ＢＣＭ）の開発に参画しており、平成 26 年度からはＢＣＭ社員食堂版の開発にも携わっている。

〇 認定資格等

・管理栄養士
・日本糖尿病療養指導士
・病態栄養認定管理栄養士
・病態栄養専門管理栄養士
・がん病態栄養専門管理栄養士
・糖尿病病態栄養専門管理栄養士
・肝疾患病態栄養専門管理栄養士
・ＮＳＴ専門療法士
・肝疾患コーディネーター
・がん専門管理栄養士研修指導師
・JDA-DAT(日本栄養士会災害支援チーム)リーダー
・医療事務技能審査２級メディカルクラーク

NST ラウンド

料理教室

栄養指導

行事食